

2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月14日
東

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3198 URL <https://www.sfpdining.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 坂本 聡 (TEL) 044-750-7154
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	13,818	△53.4	△3,380	—	△3,058	—	△3,506	—
2020年2月期第3四半期	29,679	6.5	1,821	△4.7	2,102	△2.4	1,188	△8.1

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 △3,500百万円(—%) 2020年2月期第3四半期 1,193百万円(△7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	△136.04	—
2020年2月期第3四半期	46.15	46.09

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるために記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	27,046	12,872	47.6
2020年2月期	22,975	16,371	71.3

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 12,872百万円 2020年2月期 16,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	13.00	—	0.00	13.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2021年2月期の期末配当につきましては、現時点で未定です。

3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	△54.0	△4,300	—	△4,000	—	△3,800	—	△147.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	25,776,689株	2020年2月期	25,774,689株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	208株	2020年2月期	161株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	25,776,263株	2020年2月期3Q	25,745,159株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済活動の停滞や個人消費の急減等からリーマンショックを上回る収縮を見せており、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、緊急事態宣言下における売上の落ち込みからGo To Eat等の施策もあって一時回復傾向も見られたものの、新型コロナウイルス新規感染者数が再び増加傾向となったことにより業界全体の売上は失速、前年を下回り、特に当社グループが主として展開する居酒屋業態につきましては、自治体からの再度の営業時間短縮要請、外出の自粛や集団での会食に対する警戒感の高まり等の影響により、大きな打撃を受けました。

このような状況の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染症の予防対策として「大切なお客様へ10の取り組み」を策定し、従業員のマスク着用やアルコール消毒液による店内消毒、アクリル板を設置しての飛沫感染防止対策など、店舗の衛生管理を徹底して継続しております。また、既存のデリバリーサービスの強化やデリバリー専門店の立上げ・既存店への併設、テイクアウトメニューの拡充を行うほか、経費の削減を推し進めるなど、早期の業績回復に向け努めてまいりました。

鳥良事業部門においては、「おもてなしとりよし」を「鳥良」からの業態転換により1店舗出店いたしました。一方で、「鳥良」を5店舗、「鳥良商店」を3店舗退店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は61店舗となりました。その結果、鳥良事業部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は2,914百万円（前年同期比62.1%減）となりました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」を1店舗出店したほか、愛知県にフランチャイズ店を1店舗出店いたしました。一方で、「磯丸水産」6店舗を退店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営117店舗、フランチャイズ13店舗となりました。その結果、磯丸事業部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は8,203百万円（前年同期比52.1%減）となりました。

その他部門においては、「生そば玉川」及び「とろたく」を各1店舗出店いたしました。一方で、「五の五」を1店舗、「いち五郎」を2店舗、「鉄板二百℃」を1店舗退店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は28店舗となりました。その結果、その他部門における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,604百万円（前年同期比54.6%減）となりました。

フードアライアンスメンバー（連結子会社）においては、株式会社ジョー・スマイルが「磯丸水産」を1店舗出店したほか、「村一番」、「前川珈琲レストラン」、「平陽珍」を業態転換により各1店舗出店いたしました。一方で、4店舗を退店いたしました。また、株式会社クルークダイニングが「豚のさんぼ」を業態転換により1店舗出店いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は株式会社ジョー・スマイルが17店舗、株式会社クルークダイニングが22店舗（うち、フランチャイズ2店舗）となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,096百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、店舗の減損損失948百万円を計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の経営成績は、総店舗数が直営243店舗、フランチャイズ15店舗となり、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は13,818百万円（前年同期比53.4%減）、営業損失は3,380百万円（前年同期は営業利益1,821百万円）、経常損失は3,058百万円（前年同期は経常利益2,102百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,506百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,188百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,070百万円増加し、27,046百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,831百万円増加し、14,558百万円となりました。これは主に現金及び預金が5,955百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,760百万円減少し、12,487百万円となりました。これは主に、有形固定資産が1,209百万円、無形固定資産が271百万円、投資その他の資産が279百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7,475百万円増加し、12,357百万円となりました。これは主に、未払法人税等が390百万円、買掛金が336百万円減少した一方で、短期借入金が9,340百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ94百万円増加し、1,816百万円となりました。これは主に、資産除去債務が138百万円、社債が73百万円減少した一方で、長期借入金が330百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3,499百万円減少し、12,872百万円となりました。これは主に利益剰余金が3,506百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、本日(2021年1月14日)公表いたしました「繰延税金資産の取崩し及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、今後の新型コロナウイルス感染症による影響は大きく変動する可能性があり、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,148,323	13,103,933
売掛金	672,030	525,966
原材料及び貯蔵品	149,557	102,164
関係会社短期貸付金	—	30,000
その他	757,380	796,589
流動資産合計	8,727,290	14,558,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,190,806	10,039,284
減価償却累計額	△4,884,428	△4,681,905
建物及び構築物（純額）	6,306,377	5,357,379
土地	19,148	19,148
建設仮勘定	96,813	52,055
その他	3,040,399	2,911,383
減価償却累計額	△2,242,372	△2,329,020
その他（純額）	798,027	582,362
有形固定資産合計	7,220,366	6,010,946
無形固定資産		
のれん	2,048,541	1,781,996
その他	35,773	30,327
無形固定資産合計	2,084,314	1,812,323
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,097,123	3,656,654
その他	855,325	1,007,848
貸倒引当金	△8,500	—
投資その他の資産合計	4,943,948	4,664,503
固定資産合計	14,248,630	12,487,773
資産合計	22,975,920	27,046,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	990,822	654,386
短期借入金	10,000	9,350,000
1年内償還予定の社債	6,000	73,000
1年内返済予定の長期借入金	121,839	149,763
未払法人税等	410,059	19,281
賞与引当金	314,301	144,472
株主優待引当金	99,389	60,745
店舗閉鎖損失引当金	25,735	58,769
資産除去債務	23,276	78,318
その他	2,880,036	1,768,694
流動負債合計	4,881,460	12,357,431
固定負債		
社債	73,000	—
長期借入金	250,081	580,621
退職給付に係る負債	245,504	266,884
資産除去債務	794,286	655,778
その他	359,886	313,626
固定負債合計	1,722,757	1,816,910
負債合計	6,604,217	14,174,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,377	542,712
資本剰余金	5,898,431	5,898,766
利益剰余金	9,939,739	6,433,092
自己株式	△295	△373
株主資本合計	16,380,253	12,874,198
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△8,763	△2,191
その他の包括利益累計額合計	△8,763	△2,191
非支配株主持分	212	78
純資産合計	16,371,702	12,872,086
負債純資産合計	22,975,920	27,046,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	29,679,470	13,818,530
売上原価	8,670,490	3,952,839
売上総利益	21,008,980	9,865,690
販売費及び一般管理費	19,187,479	13,245,832
営業利益又は営業損失(△)	1,821,501	△3,380,141
営業外収益		
協賛金収入	221,053	216,823
助成金収入	—	※1 100,843
保険解約返戻金	37,628	—
持分法による投資利益	—	4,739
その他	53,988	47,487
営業外収益合計	312,671	369,894
営業外費用		
支払利息	2,563	18,780
不動産賃貸原価	11,625	11,625
その他	17,288	17,938
営業外費用合計	31,476	48,344
経常利益又は経常損失(△)	2,102,695	△3,058,591
特別利益		
助成金収入	—	※1 1,704,033
受取補償金	65,543	—
特別利益合計	65,543	1,704,033
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	※2 1,318,979
固定資産除却損	—	6,029
減損損失	245,750	948,236
店舗閉鎖損失	22,915	54,740
店舗閉鎖損失引当金繰入額	17,687	58,769
特別損失合計	286,353	2,386,754
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,881,885	△3,741,313
法人税、住民税及び事業税	667,087	9,033
法人税等調整額	26,705	△243,565
法人税等合計	693,792	△234,532
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,188,093	△3,506,780
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28	△134
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,188,121	△3,506,646

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,188,093	△3,506,780
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	5,551	6,572
その他の包括利益合計	5,551	6,572
四半期包括利益	1,193,644	△3,500,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,193,673	△3,500,074
非支配株主に係る四半期包括利益	△28	△134

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

2021年1月7日の緊急事態宣言発出等を受け、営業時間の短縮や休業を実施しており、売上高の減少が見込まれます。そのため、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、2022年2月期の上期にかけて緩やかに回復していくことへ想定を一部変更しております。なお、当該変更による影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入の内容は、新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等であります。

※2 新型コロナウイルス感染症による損失の主な内訳は、休業要請に伴い発生した食材廃棄、休業中店舗の地代家賃及び人件費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。